

## 人形浄瑠璃「たちまち座」

市民の手で、新しい鯖江の文化を創りませんか？  
10月30日国民文化祭近松フェスティバルで旗揚！



浄瑠璃作家として元禄文化を築いた近松門左衛門が、立待吉江で幼少年期をすごしたという史実をもとに、立待地区では「近松の里」づくりを行ってきました。

今年、国民文化祭が福井県で開催されることを機に、市民の手による人形浄瑠璃座を立ち上げました。

現在、立待公民館を活動拠点として、鯖江市内各地から集った20名の皆さんが、滋賀県びわ町富田人形の指導を受けながら、一歩ずつ歩み始めました。

全くの素人ばかりが、気持を合わせて近松の情（こころ）を感じながら、新しい鯖江の文化創造にチャレンジしています。

市民の皆さん、ぜひ活動を覗いてみて下さい。そして、人と人との心を合わせる楽しさを味わってください。いつからでも入会OK！

お問合せは立待公民館へ（TEL51-3376）

- 所在地 鯖江市杉本町702-2 立待公民館内
- 世話人代表 近松の里づくり事業委員会  
佐々木 清一郎
- 活動開始 平成17年3月
- 会員数 20名
- 活動場所 立待公民館

## みらい塾

人と人、そして自然との共生へ  
子どもたちの笑顔が、明日の社会を作ります。



みらい塾とはNPOセンターの自主事業のひとつです。「みらい塾99ボクらの地球共和国 I N今立」から数えて、今年で7年目となります（前身の事業のサマースクール、ピッコロキャンプ村を入れると、1992年から続いていることとなります）。大きなテーマとして「人と人の共生」「人と自然との共生」ということを念頭において事業をすすめています。対象者は主に小学校高学年から中学生としています。

今年は初めてひと夏2事業という計画を立てて、サブテーマ「とりもどせ野生！とぎすませ感性！！」のもと、美山町の萌叡塾と今立町の八ツ杉千年の森にて、それぞれ7月と8月に開催しました。萌叡塾では「ほのぼの田舎くらしの巻」ということで、自分たちの「食」のありがたさ、「命」の大切さを1泊2日の体験で感じてもらえたと思います。八ツ杉千年の森では「のびの～び自然！の巻」ということで、自然の不思議さや面白さ、人と自然とのつながりを2泊3日のプログラムにて体験してもらえたのではないかと思います。

ボランティアスタッフを随時募集していますので、興味のある方は遊びに来てみませんか。

- 所在地 鯖江市長泉寺町1丁目9-20  
鯖江市民活動交流センター（さばえNPOセンター）内
- 代表 久保田 裕之
- 活動開始 平成11年3月
- 会員数 スタッフ約50名 参加者51名（2005年度）
- 活動場所 鯖江市民活動交流センター（さばえNPOセンター）内